

令和7年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立仲六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ 場面の様子に気付いたり、想像を広げたりできるよう、動作化、劇化などの表現活動の場を設定することで、簡単なあらすじを理解できるようになった。(1年)
- ・ 気持ちや考えを文章にする練習や、話型を用いた活動を繰り返したことで、理由を踏まえた自分の考えを表現できるようになった。(2年)
- ・ 大事な言葉に線を引かせたり、文章のまとまりを捉える練習を繰り返したりすることで、話の中心を捉える力がついた。(3年)
- ・ 分からない言葉を、辞書などを引いて調べる習慣が身に付いてきた。(3・4年)
- ・ 物語を読み、感じたことや考えたことを共有するための話し合いの時間を多く設けたことで、様々な考えや読み方があることを知り、登場人物の心情や文章の要点を読み取る力が伸びた。(4年)
- ・ 話し合い活動や発表の場を多く設けたことで、自分の考えを伝えたり、多様な考えから意見をまとめたりする力がついてきた。(5年)
- ・ 漢字の定着を図るために、漢字10問小テストを繰り返し行い、漢字を書く力が伸びた。(6年)
- ・ 説明文では、繰り返し本文を読み、筆者の考えを一つ一つ細かくとりあげたことで、文章構成の工夫や、主張などを読み取る学習が主体的にすすむようになった。(6年)

(2) 課題

- ・ 文章を書くと、助詞「は・を・へ」を正しく使えない児童が数名おり、定着が不十分である。(1年)
- ・ 誤字や脱字が多く、撥音や促音の定着が不十分な児童が多い。文章を読み飛ばしてしまい、理解が不十分になってしまう児童が一定数いる。(2年)
- ・ 既習漢字を活用する力、ローマ字表記を活用する力が不十分である。(3年)
- ・ 辞書などで言葉の意味を調べる習慣が身に付いてきたが、調べるだけで終わってしまい、活用しきれていない。(3・4年)
- ・ 問題文から場面を想像したり予測したりする力が不十分であり、問題と的外れな回答をしてしまう。(5年)
- ・ 話し合い活動を苦手としている児童が多く、自分の考えを伝えることを不得意である。(6年)
- ・ 筆者の意図を読み取っても、それを活用して表現する力が不十分である。(5・6年)

2 大田区学習効果測定の結果について

(1) 達成率(同一集団の経年変化)

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内の正答率の平均が、目標値とほぼ同じである。 ・ 特に「言葉の学習」と「交流会について話し合う」に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内の正答率の平均が、目標値をわずかに下回っている。 ・ 特に「調べたことをもとに文章を書く」に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内の正答率の平均が、目標値をわずかに下回っている。 ・ 特に「調べたことをもとに文章を書く」に課題がある。
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内の正答率の平均が、目標値をわずかに上回っている。 ・ 特に「自分の考えと事例との関係を明確に書く」に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内の正答率の平均が、目標値を上回っている。 ・ 目標値を大きく下回る「連用修飾語の理解」「話の構成を考える」に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内の正答率の平均が、目標値を上回っている。 ・ 目標値を大きく下回る「連用修飾語の理解」「話の構成を考える」に課題がある。
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標値とほぼ同等である。漢字を書くや聞き取りに対して、内容は聞き取れたが、話し合いの仕方や工夫を読み取る力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標値をわずかに上回るが、漢字を書く、物語文等で描写を基に読み取る力や、文章を書くことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標値をわずかに上回るが、漢字を書く、物語文等で描写を基に読み取る力や、文章を書くことに課題がある。

(2) 令和7年度の結果分析（観点別）

・4学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 漢字は読めるが、書くのが苦手である。また、「言葉の学習」では、主語と述語の関係と国語辞典の使い方の理解が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 「交流会について話し合う」が苦手な児童が多い。 正しく情報を読み取り、自分の考えを書く練習が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 「文章を書く」の問題において、無回答の児童が5分の1いた。 あきらめず取り組むことで、達成感を味わえるようにしていきたい。

・5学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 漢字辞典の使い方や、送り仮名を伴う漢字の書きについての理解が不十分である。反復練習が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 「文章の要約」や、「考えと事例の関係を明確にして書く」というところに苦手さが見られる。めあてを明確にし、書く活動を繰り返していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を書く活動において、無回答の児童が4名いた。自己表現に抵抗がある児童が一定数いるため、簡単な表現活動を入れていくようにする。

・6学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 「漢字を書くこと」が弱い。漢字の学習や文章を書く習慣化や、定着まで繰り返し行うことが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成を考えて、文章を整え直したり、条件に応じて書いたりする力をつける必要がある。 文章を正しく読み、叙述を基に考える力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> 書くことを面倒に感じる児童がいる。粘り強く問題に取り組む力を伸ばす必要がある。 できるようになるまで、繰り返し学習する姿勢を伸ばしていきたい。

3 授業改善のポイント

・低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>1年</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し方名人、聞き方名人のように掲示物を効果的に活用し、繰り返し指導することで、話し方・聞き方を日常的に身に付けられるようにする。 毎日のノート記録や振り返りを行う際に、助詞「は・を・へ」を正しく使えるように指導をする。MIMトレーニングにも定期的に取り組む。 NIEタイムを活用して、新聞記事を定期的に読ませることによって、語彙力を身に付けさせる。 <p>2年</p> <ul style="list-style-type: none"> 音読カードを活用し、上達ポイントを押さえながら練習させる。 漢字学習では、熟語や漢字の入った文章で書く練習に取り組ませ、読み書きと使い方の定着を図る。 事柄の順序を表す語や内容のまとまりに着目しながら繰り返し音読 	<p>1年</p> <ul style="list-style-type: none"> 読む力を伸ばすために、場面の様子に気付いたり、想像を広げたりできるよう、動作化、劇化などの表現活動の場を多く設定する。 書いたことを読み合ったり、よいところを見つけて感想を伝え合ったりする活動を取り入れる。  <p>2年</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアやグループで尋ねたり応対したりするクイズなどの活動を通して、伝えたい事柄や相手に応じ、声の大きさや速さなどを工夫することができるようにする。 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必 	<p>1年</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな種類の本の読み聞かせを行い、読書の楽しさを実感させる。また、朝読書や図書の日など十分な読書の時間を設ける。 考える、発表する、振り返る活動を意図的に取り入れて、学びを深めるようにする。  <p>2年</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝読書や、図書の日などに読み聞かせを行う。読書カードを活用し、読書への意欲を高める。 NIEタイムで多くの文章に触れさせ、文章への興味を高める。

<p>する時間を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NIE タイムを活用して、新聞記事を定期的に読ませることによって、語彙力を身に付けさせる。 	<p>要な事柄を選び、順番に気を付けて書く機会を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせを聞いたり物語を読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり演じたりする活動を通して、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像できる世にする。 	
--	--	---

・ 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>3年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明文や物語において「はじめ、中、終わり」の文章構成を意識することができるようにする。 ・反復学習や小テストを定期的に行い、漢字の定着を図る。 ・読書タイムや NIE タイムを充実させたり、辞書引きをさせたりして語彙力を高められるようにする。 <p>4年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きを定着させるため、漢字小テストをこまめに行ったり、反復練習したりする。 ・読書タイムや NIE タイムを活用して、語彙力を高める。 	<p>3年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで感じたことや考えたことなどについて話し合う時間を設け、一人一人の感じ方には、共通点や違いがあることを理解できるようにする。 ・ペアやグループでの話し合いや発表などの多様な活動を取り入れながら自分の思いや考えを広げ、伝え合う力を養う。 <p>4年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語文では、登場人物の言葉や行動を基に考えることを徹底し、根拠には本文に線を引いて考えるようにする。 ・読み取ったことを書く活動を多く取り入れ、考えを表現する機会を増やす。 	<p>3年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各授業や單元ごとに振り返りを行い、自分の考えを表現することに慣れさせる。 ・ビブリオトークなどおすすめの本を紹介し合う機会を設定し、自分の考えをまとめ、表現する力を高める。 ・NIE タイムで多くの文章に触れさせ、記事に興味をもつことができるようにする。 <p>4年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み取りの授業の最後に学習おまめを書く活動を取り入れ、自分の考えを表現することを定着させていく。

・ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>5年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドリルや小テストを繰り返し行い、一人一人の学習の定着状況を適宜確認し、フォローアップを通して漢字やローマ字の定着を図る。 ・国語辞典を引く習慣を身に付けさせ、語彙を増やしていく。 <p>6年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字を確実に覚えるために、漢字ドリルの小テストを活用して、習熟を図る。合格点をとるまで、繰り返し行う。 ・「書く」単元では、書いた文章について自分や他者と十分に推敲する時間をとったり、文章について交流を行ったりして、自分の文章について加除訂正ができるようにする。 ・NIE 教育を推進し、新聞などの良質 	<p>5年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明文では、段落や構成などから大切な文章や筆者の考えを捉える学習を繰り返す。 ・文章全体の構成や書き表し方に着目したり、文型を示したりしながら書く活動を取り入れていく。 <p>6年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章全体の構成や展開の明確さなど、良さを見付ける。 ・どのようにかかっているのかなど表現に着目させ、読ませる。 ・説明文の単元では、筆者の文章構成の工夫を読み取り、どんな効果や意図があったかまとめたり、まとめたものを掲示したりして、自分が文章を書くときに活用できるようにする。 	<p>5年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段から短い文章や口頭での自己表現の機会を多く設け、自己表現に慣れさせていく。 <p>6年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入では単元のゴールイメージをこどもたちと共有し、何を学びどんな力を付ける学習か児童と合意形成を図る。 ・家庭学習を充実させ、詩の暗唱や俳句作り、漢字の定着など自主的に学習するよう促す。

な文章に触れる機会をたくさんとり、そこから、文章の構成をつかんだり、自分の考えを書いたり、していくようにする。

- 話の目的に応じて、話の内容を捉え、内容を明確にするため、話し手の工夫を捉えさせる文法、語句に関する知識を定着させる。

